

駒来の家



近況報告 ー透析専門病院のワーカーとしてー

光寿会春日井病院（旧ひがし春日井病院） 佐々木 秀三

当院が透析専門病院に移行し、透析の患者さんを受け入れはじめてから5ヶ月が経過しました。3月までは入院の方ばかりでしたが、4月からは外来透析の方の受け入れもはじめています。

透析の患者さんの相談援助という未知の領域の仕事で、不安を抱えながらの毎日ですが、幸い同じ法人内の他施設にベテランのワーカーが複数いますので、そうした先輩達の指導を仰ぎながら日々業務をこなしている現状です。

ところで、4月に同じ法人内透析専門クリニック2ヶ所の通院患者さんの「患者会」総会にそれぞれ参加させていただきました。どちらの総会も30数名ほどの出席者でした。事業報告などの型どおりの議事後、意見交換の時間がもうけられ、患者会活動に関する意見、通院先のクリニックに対する要望などいろいろな発言がありました。

透析関係の資料を見てみますと、患者会活動がずいぶんしっかりと組織立っていることが分かります。全国組織、県組織そして各医療機関単位での患者会活動としっかりとした枠組みの中で活動が展開されています。こうした組織立った患者会活動が、透析医療に関わる医療費の無料化という大きな制度を支えていると言えるようです。当事者の声やパワーが制度を変えたり制度を維持していくことの原動力として重要なことを患者会総会に参加することであらためて感じさせられました。

職場環境が大きく変わって以降、ネットワークの活動に参加できない状況ですが、ネットワークでの活動で得たものを、新しい分野で活かしていきたいと思っています。

海部・津島だより

津島保健所健康支援課 円谷 俊夫

一宮保健所勤務のまま定年を迎える予定でしたが、思いがけず津島保健所に転勤になり少々戸惑っているところです。結果的に一宮保健所は2年間の短い勤務期間となりました。私としては、1か所の勤務地に最低3年間は勤めないともな仕事はできないと考えてきましたので、残念な気持ちが残りました。

津島保健所は愛知県で、管内の市町村の数が一番多い保健所です。最近の市町村合併で3市5町1村の9市町村になりましたが、合併以前は13市町村の時代が長く続いていました。転勤から1か月が過ぎましたが、まだ市町村の名前と位置関係が充分頭に入っておらず、ましてやそれぞれの市町村の関係職員の方々の名前もほとんど分からない状態です。それでも「家族懇談会」や「家族会の総会」に出席させていただきいろいろなお話を聞かせていただきますと、地域は変わっても家族の皆さんの悩みや関心は同じだなあと実感させられているところです。

個別の相談を受けることは大分少なくなり、物足りない面もありますが、地域のNPOの勉強会に出席させていただいたり、一宮市でつながりのできた地域の皆さんと一緒に「こころのあんしんを考え、語る会」の開催に取組んだり、時間外の活動が増えてきたように思います。この「語る会」は、本誌の前号で紹介させていただいた、NPO法人「もやい」の活動の一環として始められたものです。前号の紹介に登場した「うどん屋」は、昨年10月に一宮市の委託を受けて「地域活動支援センター」になることができました。これで、理事長の上田さんの個人レベルの経済的負担は幾分軽減されることと思います。

「語る会」の活動は、今までの地域活動の枠を超えたもので、精神の当事者の方々や関係者の他に、身体や知的

の障害の方々、ホームレスからの脱却に取り組んでいるの方々、そして公私を問わない地域の様々な分野の関係者も参加する、入り口も奥行きもかなり広い活動です。当面は「語る会」を、様々な立場の当事者の皆さんの話に、参加者全員が耳を傾ける場所として開催していく予定です。そして、将来的には、地域における当事者中心の「自助」と「互助」の活動を「地域」としてバックアップしていくことができるようになればと考えています。「駒来の家」の着実で継続性のある活動もお手本にしながら、さまざまな当事者の方々が中心になり、「地域」ぐるみの運動になっていくことを願っています。

家族の居場所「ふらっと」の紹介

春日井地域精神障害者家族会「むつみ会」 会長 藤原 博恵

この度、国の基金事業「精神障害者等の家族に対する支援事業」（新規）の推進に伴い、県から愛家連を通じて家族会へ連絡がありました。兼ねてより家族会の要望として、心の病を抱えている方の家族の負担は大きく、周囲に話すことも出来ず、どこにも繋がることもなく孤立している家族はかなり多い状況を把握していましたので、家族の居場所として新しく「ふらっと」と命名し立ち上げることに致しました。

「ふらっと」の意味は、ふらっと気軽に参加できる場所にしたいという思いを込めてあります。心の病を抱えている方のご家族であれば、どなたでも参加出来ます。ゆっくりした時間を過ごしなが、話題を共有することで安心や将来の展望を持ち、まずご家族が元気になれることを目指しています。

この事業に対し、春日井市障がい福祉課の課長さん始め、保健所の課長・課長補佐さん等からの力強いご支援をいただきました。当初から一緒に考えて頂き、ここまで形が出来ましたのは市や保健所のご支援があったからと、心から感謝しています。

初日（4月5日）はドキドキワクワクしながら、待っていましたら10組12名の参加がありました。保健所と地域の専門家の方々に参加して頂き、また、障がい福祉課の課長さんは素敵なシャージ姿で、さり気なく立ち寄られ、まさに「ふらっと」の意味をご理解いただき、「なんと粋な課長さん」と大変感動致しました。最後には皆様から励ましのお言葉をいただき、私たちはいろいろな方に支えていただいていることを実感し大変嬉しく思いました。

二回目の4月22日の参加は8組9名で、保健所と市の障がい福祉課の精神保健福祉士の方が参加され支援していただきました。

参加者の感想に「行政や専門家の方の協力もあり安心して参加できます」との声もあり、公平で、客観的な立場から見守っていただき、家族の大変さを理解して下さる支援者の方々の存在があることは、私たちにとっては安心して参加できる居場所となっているようです。

この事業は、家族会の事業ではありますが、今まで法律、制度でも、また専門家からも、時には親戚、地域からも、家族に求められることが多く、家族の高齢化も伴い、多くの家族は困惑、疲弊してきています。家族は本人の影響を強く受けやすく、同時に本人が病気、障害と上手に付き合えるように影響を与えることの出来る立場にもあります。家族が正しい情報を得て、家族自身が元気になり、家族しか出来ない役割を果たすことによって、本人を支える一人に成り得ると考えます。今、どこにも繋がっていない家族が孤立することなく、些細な問題でも、構えることなく安心して家族同士が話し合える場所と仲間と支援者が必要と考えます。そして本人と家族が安心して生活出来ることを願って取り組んでいきたいと思ひます。

家族の方々を力を含ませ、参加した方が一人でも良かったと思っていただけるよう、参加者のご意見（アンケート）を伺いながら、ほっと一息できる魅力的な場所になるよう、話し合っって進めて参りたいと考えています。

最後になりましたが、関係機関や当ネットワークの皆様には、今後ともご理解の上ご協力いただきますようお願いいたします

「ふらっと」開催のご案内

日時：基本的に毎月第1日曜日と第4水曜日 14時から16時に開催

場所：春日井市総合福祉センター ☆連絡の必要はありません。直接ご参加してください。

就労継続支援B型事業所

かすがいフォレスト

平成20年10月1日に小規模作業所から就労継続支援B型事業所へと移行を果たし、これまでの地域での居場所機能をできる限り保ちつつ、就労支援事業としてお弁当の製造販売を始めました。小規模作業所時は月・火・木・金の週4日の開所であったところを週5日の活動と変わったことで、当初は生活リズムの変化に対応することが難しいというメンバーもありました。また、移行前から「工賃獲得より、居場所を確保してほしい」という利用者の声もあり、お弁当の量や販売先もセーブしながら徐々に広げていくことになりました。当初は「これまで居場所としてやってきたフォレストで、お弁当の製造販売なんてできるの？」という心配の声も内外からありましたが、無理せず丁寧に進めることで、半年がたつころには参加する利用者にも、作っているお弁当にも変化や成果が見られるようになりました。

移行にあたって、障害者自立支援法における障害指定サービス事業所は、何をどう行つて、どういった成果が出ているのかが直接運営に反映されることが一番心配な点でありました。関係者の皆様から様々なご心配や、ご協力をいただきましたが、運営している職員は不安と心配を内心抱え、でも利用者の通う場所をなんとしても守ること、より良い施設にすることを考えて、ただただ毎日を精一杯やってきました。気づけばそこから半年が過ぎ、ようやく一息ついて振り返ることができる状況になったのかと思います。こうして報告できることが今まで以上に喜ばしく思えるよう努力したいと思います。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

障がい者生活支援センターJHNまある

宮原・梅村

お世話になった長塚公民館から総合福祉センター内へ移転をし、2ヶ月が過ぎようとしています。来所相談を希望される方には便利の良い場所となった(?)のか、来所相談の件数は増えています。ただし、場所柄『適切な相談室の確保』や『土曜日開所』は利用される方にとって良いのか？等の課題はあります。

JHNまあるの開所から2年が経過しましたが、今年度は外部に向けての研修やグループ活動の立ち上げ等の活動にも力を入れていきたいと思っています。

障がい者生活支援センターが多くの方に周知され、活用していただけるよう努力していく所存ですので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ピアステーション勝川

開所から4年が経とうとしています。年を追うごとに登録者数、1日平均の利用者数が増えており作業所内は賑やかになりました。しかし一方で精神障害者と一言に言ってもその障害の特性は多岐にわたるようになってきており今まで行ってきた支援ではなかなかうまくいかないメンバーも出てきました。これからもさまざまな障害特性を持った方が増えていくことが予想され今まで以上に職員のスキルアップと個別支援が必要になると感じています。

今年度から新たに家族懇談会を開催しました。日頃家族が抱えている悩みや作業所での活動のこと家族間同士の情報交換などを行いました。今後も年2回のペースで続けていきたいと思っています。



第5回癒しの展示会を開催しました

癒しの展示会実行委員

小川 早弓

H21年3月14日(土)～3月16日(月)に癒しの展示会を開催しました。今回も各機関のメンバーとスタッフで実行委員会を結成し、話し合いや準備を行いました。今回で第5回目を迎えましたが、実行委員には何度も参加されているベテランメンバーもいらっしやり、頼もしい限りでした。

小牧市・春日井市の交互開催で、今回は春日井市のザ・モール春日井(LIVING)のいこいの広場での開催となりました。パネルの数が少なく展示方法を悩みましたが、出展頂いた全ての作品を展示することが出来ました。作品の種類は絵画、写真、習字、工芸品など様々で、機関での共同作品も大作がそろいました。作品数は114点、内36点は販売希望でした。18点が売れ、出展したメンバーの喜ぶ姿も見られました。

また、展示会の開催費用にあてるため、メンバーに作品を提供して頂いてトートバックやクリアケースなどのオリジナル商品を作成し、販売を行いました。

今年は精神障がい者の作品展であることをもっとアピールし、社会啓発の場にもしたいということが実行委員会で確認され、各機関の活動内容などの紹介コーナーも作りしました。

3日間の延べ来場者数(ポケットティッシュ配布数)は昨年の290人を大幅に上回る、489人でした。様々な点で今後の課題は多くありますが、盛況に終わることができたと思います。

今回もたくさんの方にご協力いただいで開催することが出来ました。本当にありがとうございました。

〇〇〇

「第24回 バーベキュー大会を開催しました」

5月30日(土)に第24回四季の盛々バーベキュー大会を開催しました。時折小雨が降りましたが、バーベキュー、ゲーム大会に大きな影響はなかったと思います。参加人数は88名で、各炉ごとのペースで食材を焼き、食べながらにぎやかにバーベキューを進めることができました。食材は肉、フランクフルト、ホタテなどに加え、いつもより野菜が多く食べ応えがあったのではないかと思います。公園ではバラ・アジサイ祭りが開催中で、フリータイムに出店などを楽しんだ方も多かったようです。

今大会は例年のように実行委員会を開催せずに、各関係機関・施設の皆さんで分担して準備の段階から当日の役割までご協力いただき、楽しい場を設けることができました。恒例だった抹茶コーナーカラオケコーナーの省略に寂しさを感じた方もいらっしゃると思います。皆様の感想等を次回に生かし、より楽しい交流の場にしていけたらと思います。

+++++++++

「今、リハビリ中です」

東春病院 伊藤 要

大変、ご無沙汰しております。左腎臓の末期癌による療養生活がいまだに続いています。

桜の開花とともに入院し15時間の手術の後6日間、麻酔から醒めずにいたため桜の花を見逃してしまいました。

今まだリハビリ中です。いろいろと心配しましたが、ネットワークの方も病院の方も次の世代の人たちが結束して頑張っていて下さっているので安心して療養に専念できています。

12月12日の告知以来、主治医の意見に逆らって入院前日まで勤務を続けましたが、「今度は許可が出るまできちんと療養すること」「伊藤さんが勝手に育ったように、若手も勝手に育っていくから」ときつく念を押されていますが正にその通りですね。これまでの私にとって非日常の生活が12月以来は日常となって他にも多く学ぶことがあります。力みをとっていい意味で自分自身を第一に考えている私があります。

癌は微小ですが肺に転移しており一生、癌との付き合いは切ることが出来ません。難儀ですがこれをいい経験に変えてみせます。

そういうわけで多々ご迷惑をかけますが、よろしくお願いいたします。

＝ご寄付をありがとうございました＝

佐久間佐知子様 岡島光永様 伊藤要様 渥美浩子様 関口純一様
春日井市地域精神障害者家族会「むつみ会」様 学習会参加者様

★広報担当★

小牧市民病院 精神科 山内・竹内(小牧市常普請1丁目20番地 Tel. 76-4131)

★発行元★

かすがいフォレスト内 駒乗の家(春日井市八田町7丁目3番地15 Tel. 84-2732)

かすがいフオレスト おべんとう

お弁当販売日：毎週火曜日・木曜日（それぞれ前日の月曜日・水曜日の午前9時30分までの注文で承っています）

1食 500円



1か月ごとのメニュー表を作っています。
行事や会議にもご利用ください。
メニューのリクエストも承ります。
お問い合わせください。

〒486-0849

春日井市八田町7-3-15

TEL・fax 0568-84-2732